

「名護岳登山・沢歩きを通して野外活動指導のポイントを学ぶ」 募集要項

- 1 趣 旨 自然体験に関心のある方等を対象として、体験活動の重要性について理解を深めるとともに、様々な体験活動を地域の青少年へ普及することを推進する「体験活動推進員」を養成する。
今回は沖縄県立名護青少年の家「やんばる自然教室」と連携し、名護岳の登山や沢歩きを通して自然の素晴らしさ、体験活動の重要性について体感するとともに、野外活動への理解を深める。
- 2 主 催 沖縄県体験の風をおこそう運動推進協議会
- 3 後 援 沖縄県教育委員会／沖縄県 PTA 連合会／国頭村教育委員会／大宜味村教育委員会／東村教育委員会／今帰仁村教育委員会／本部町教育委員会／名護市教育委員会／宜野座村教育委員会／金武町教育委員会／沖縄県青少年教育施設連絡協議会／琉球新報社／沖縄タイムス社
- 4 事業主幹 沖縄県立名護青少年の家 国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家
- 5 期 日 令和2年11月1日（日）9：50～16：00 受付9：30～9：50
- 6 会 場 沖縄県立名護青少年の家（住所：名護市字名護5511）
- 7 参加対象 ・PTA 関係者・学童クラブ関係者 ・学校教育関係者・幼稚園教育関係者
・社会教育関係者・行政関係者 ・子どもの体験活動に関心のある方
- 8 募集人員 30名程度（子供同伴（小学生以上）での参加可）※3～4時間程度山道を歩く体力がある方
- 9 申込方法 沖縄県立名護青少年の家（0980-52-2076）までお電話で直接お申し込みください。
- 10 募集期間 令和2年10月1日（木）～10月24日（土）

11 日 程

9:30	9:50	10:00	10:45	11:30	15:30	16:00	
受付	開講式	講話Ⅰ	講話Ⅱ	実習 名護岳登山、沢歩き (途中昼食)	閉講式		※希望者は シャワー利用可

(1) 講話Ⅰ・Ⅱ
「子供のころの体験活動が人生に与える影響について」・「体験活動推進の取り組み」
講師 国立沖縄青少年交流の家 所 長 大濱 善秀
国立沖縄青少年交流の家 主任企画指導専門職 國仲 貴光

(2) 実習
「名護岳登山・沢歩き」(参加者、親子全員)
講師 安座間 安史 氏 與儀 春樹 氏 島袋 徳正 氏
引率 沖縄県立名護青少年の家 職員
※講話中、子供達はプレイホールでクラフトやチャレンジゲームを行います。

- 12 受講後 ○受講した方を「国立青少年教育振興機構体験活動推進員」（登録期限なし）に委嘱します。
○推進員になっても何ら義務は生じません。推進員が各団体などで行事を企画する際、国立沖縄青少年交流の家の協力が必要な時には可能な限りお手伝いをさせていただきます。
- 13 その他 ○持ち物：水筒、弁当、軍手、タオル、帽子、雨合羽、着替え、虫除けスプレー、カメラ等
※持ち物入れはリュックサックが望ましい
○服装：長袖シャツ、長ズボン、山歩きに適した靴 ※明るい色の服装がのぞましい
○シャワーご希望の方のシャンプー、ボディソープ等は青少年の家で準備いたします。
- 14 新型コロナ感染症対策について
○参加者の皆様には事業受付時の検温へのご協力をお願いいたします。
○事業中はマスク着用（講義中必須）、手洗い、手指消毒、「三つの密」を避けるよう対策を行いながら実施致します。
○事業前2週間間に咳や発熱、風邪症状、だるさ、体調不良等がある方は、本事業への申し込み、当日の参加をご遠慮ください。